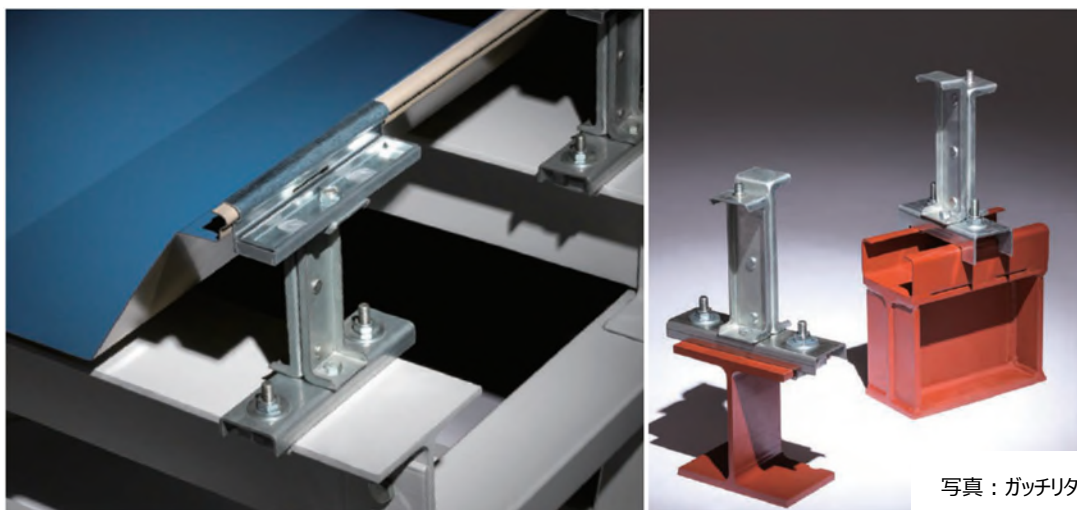


無溶接タイトフレーム「ガッチリタイト[®]」が国土交通省の 新技術情報提供システム（NETIS）に登録されました

三晃金属工業株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：佐藤宏明)の無溶接タイトフレーム「ガッチリタイト[®]（無溶接タイト[®]）」(以下、ガッチリタイト)が、国土交通省の新技術情報提供システム「NETIS（ネティス）」に 施工品質・工期短縮・安全 の面で評価され、今月 16 日に登録されました。

現在、国交省により審査・評価された新技術が NETIS には約 3,300 件登録されていますが、建築関連、とりわけ屋根関連で登録された新技術は希少で、これを機に今後さらなる認知度向上が期待されます。

ガッチリタイトは一般的なタイトフレームのように溶接で鉄骨に固定するのではなく、専用のボルトで固定する技術を採用しています。これにより均一な品質を確保でき、溶接準備や取付け後のスラグ除去・補修塗装が不要となり施工性が向上し工期短縮に寄与します。さらに、施工現場での火災発生リスクと溶接光・煙による作業員の健康リスクも低減できる特長があります。



写真：ガッチリタイト。

[NETIS（New Technology Information System）とは]

公共工事等に関する優れた技術を持続的に創出していくため、民間企業等により開発された新技術に係る情報を共有及び提供するためのデータベースで、国交省により運営されています。

公共工事の施工者が NETIS に登録された新技術の活用を提案し、実際に工事で活用された場合には、施工者は公共工事の成績評価である工事成績評価の加点対象となります。

[NETIS 登録情報]

- ・登録番号 : KT-230302-A
- ・技術名称 : 無溶接タイトフレーム（ガッチリタイト）
- ・登録日 : 2024年02月16日
- ・NETIS サイト内の「ガッチリタイト」登録ページ :

<https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-230302%20>

[施工工程の比較]

工程		一般的なタイトフレーム	ガッチリタイト
事前準備	溶接準備、火花養生	必要	【 不要 】
取付作業		アーク溶接(※1)	インパクトドライバー(※2)
取付状態確認		目視による確認	トルクレンチによる確認
取付後作業	溶接部のスラグ除去	必要	【 不要 】
	梁鉄骨の表面及び裏面の塗装補修	必要	【 不要 】
取付完了後	監視員配置による2時間の残火確認	必要	【 不要 】

(※1：アーク溶接による取付作業)



(※2：インパクトドライバーによる取付作業)



[製品の特長] (<https://www.sankometal.co.jp/products/metalroof/specific/specific001.html>)

- ・施工品質：専用のボルト固定による施工で均一な品質確保
溶融亜鉛メッキ鉄骨に損傷を与えず品質保持
- ・工程短縮：前工程(溶接準備・火花養生)と後工程(鉄骨梁上スラグ除去・補修塗装)が不要
夜間作業や雨天時等でも施工可能
カーテンウォール等の意匠壁面や床面仕様の仕上げ制約を受ける建屋に施工可能
- ・安全：アーク溶接作業がないため、呼吸用保護具の着用が不要
監視員による溶接(火気作業)後の残火確認が不要
- ・環境：溶接による二酸化炭素排出削減
溶接煙が発生しない
- ・特許：取得済み【特許第 6437760 号】

[施工事例]

- ・鉄道ホーム上屋施設
- ・屋内プール施設
- ・沿岸地域・格納庫施設
- ・スタジアム等スポーツ施設
- ・夜間作業となる施設
- ・火気作業禁止プラント施設
- ・民間工場／生産施設
- ・漁港港湾施設
- ・屋外露出／大庇、荷捌き上屋
- ・特殊環境作業室上屋

[対応可能屋根仕様] ※耐火認定についてはご相談下さい。

- ・丸馳折版Ⅰ型、Ⅱ型、Ⅲ型
- ・丸馳折版ロックⅠ型、Ⅱ型
- ・折版ダブルパック工法
- ・嵌合式折版 F-200Ⅰ型、Ⅱ型
- ・MRAD (エムラッド) 工法

三晃金属工業は、金属屋根トップメーカーとして「未来のために、今から屋根ができること」をキーワードに持続可能な社会実現に向けた商品をお客様にご提供し、これからも社会に貢献して参ります。

以上